乳児＜0・1・2歳児＞クラス　秋の遊び・子ども達の様子

＜0 歳児＞

保育士との愛着関係を基に、周囲への興味が広がってきた０歳児クラスの子ども達。
散歩に出かけた先で、外の空気に触れたり、葉っぱなど自然物の感触に触れたりしています。
いろいろな体を動かす遊びの経験を重ね、保育士の見守りの下不安定な場所にも挑戦し、友達と一緒に外を眺める姿等、友達を身近に感じる姿も増えてきています。
全身を動かすことで、月齢によっては微細な動きの発達も感じられるようになり、【やってみたい】が感じられるようになってきています。

＜1 歳児＞

自分なりの【楽しい！】が周りにも広がるようになってきている１歳児。手作り楽器遊びから、いろんな音を楽しみ、本物の太鼓や楽器に触れて、全身でリズムを楽しむ姿が見られました。【友達と一緒に】も感じられるようになってきています。
秋が感じられる園庭では、自分の「散歩バッグ」を手に、どんぐりやダンゴムシ等を探したり、散歩先で見つけたアリの行列に興味津々で、観察したり木の枝を使って触れてみる姿も見られています。

＜2 歳児＞

日々の生活の中で、「わくわく」「不思議」「おもしろい」を見つけ出すようになってきている2歳児。夕方、手作りの双眼鏡で空を見上げると、遠くの空に「月」を発見！
「これから見えた！」「夜じゃないのに見えた！」と何度も確かめ発見を喜びあっていました。
異年齢児の園外保育にあこがれをもち、「ほくらぁも行きたい！」と遠足ごっこを始めた子ども達の姿に合わせ、保護者の協力も得ておにぎり遠足が実現しました。園に帰ってくると、「ただいま～」「シートあったで」と満足感いっぱいで話してくれました。 3 歳児に向かって、やりたいことが実現できる満足感、達成感を今後も積み重ねていきたいです。